

一般社団法人名古屋東法人会 主催

タケ海舟氏による 歴史講演会

入場
無料

令和7年度大河ドラマ

「べらぼう～蔦屋栄華乃夢噺～」の見どころを探る！

つたじゅう

たぬまおきつぐ

いのう

『蔦重と田沼意次』

～江戸を舞台に躍動した異能の本屋と政治家
その成功と挫折そして復権～

日時 令和7年3月25日(火) 開演15時30分
(開場15時00分、終了予定17時00分)

場所 中産連ビル (名古屋市東区白壁町三丁目12番13号)

講師 歴史人:タケ海舟 (小川剛史氏)

よしはら

吉原の引き込み茶屋の軒先を借りて始めた、貸本業から身を起こした蔦屋重三郎 (蔦重)!

つたやじゅうさぶろう

凄腕の版元(出版人)であった彼は、南畝・喜三二・京伝・春町などの著名な戯作者による傑作を次々と

はんもと

なんぼ

きさんじ

きょうでん

はるまち

げさくしゃ

世に送り出すと共に、歌麿・写楽・北斎など、後の化政文化を代表する浮世絵師の才能を発掘・開花させた名伯楽として、江戸中期末から後期初頭にかけての出版業界を牽引! 出版の枠に留まらない、情報メディアのオピニオンリーダーにまで上り詰めました。多彩な交友関係を基軸に、広範なネットワークを駆

うたまろ

しゃらく

ほくさい

かせいぶんか

うきよえし

使した彼の多岐にわたる活動の背景には、当時の江戸幕府老中として権勢をふるっていた田沼意次の積極的な商業重視政策があり、両者は文化と政治という、異なるフィールドで成功を収めた、異彩・異能の傑物でありました。

たぬまおきつぐ

いさい いのう

異彩・異能の傑物でありました。

しかしながら、栄枯盛衰の諺通り、田沼は反対勢力との政争に敗れて失脚、同じく蔦重

まつだいらさだのぶ

かんせいいかく

も田沼にとってかわった松平定信が主導する寛政改革の出版統制の洗礼を受け、財産の半分を没収されてしまうのですが… むしろ『ピンチこそがチャンス!』と考えた蔦重は、それまでの常識を根本から覆すような仕掛けを構築して世に是非を問うたのです!

今回の講演では、あまり馴染みのない蔦重の生涯にザックリと触れると同時に、田沼意次という、現在においても評価が分かれる個性的な為政者の実像にも迫って参りたいと思います。

是非お楽しみに!



◆参加申込み方法: 下記にご記入のうえ、FAX 052-939-2527までお申込みください

事業所名

【

】

連絡先

電話番号

【

】

参加者氏名

【

】

【

】

※法人会会員以外の方も参加できますので、皆様お誘いあわせのうえ、お申し込みください。

※当日、この用紙をご持参のうえ、会場にお越しください。

※定員を超えた場合はお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先: 一般社団法人名古屋東法人会 事務局

TEL 052-939-2520 FAX 052-939-2527



法人会

【地域社会への貢献を目的とする事業】